

地域に超密着して76年。

デイスカまなべの凄さとは



昭和36年撮影、創業の地は旧32号線沿い。安部歯科医院近く、「みゆき」はす向かい付近。現在地に移転したのは昭和59年



電動工具大手の「マキタ」から県内唯一、農園芸充電工具専門ショップの指定を受けている



直径73cmもの鍋を受け止めるかまども特注品



「飯山型」唐鉄。2軒の鍛冶屋ごとでも仕様を変えている

田園型総合ホームセンター

マルターエリアにホームセンターはいくつもありますが、「デイスカまなべ」というお店を知っていますか？デイスカまなべはコトデン栗駒駅→J-A綾歌→栗駒小学校のあたり、県道22号普通寺綾歌線沿いにあります。お店に一步踏み込んで見回すと、地区の生活用品が全部揃うかと思うほどの生活密着感でいっぱいです。

最近のホームセンターって、趣味とかお洒落とか最新技術とかの「キラキラ」がたくさん集まって楽しませてくれている面がありますよね。でもデイスカまなべには綾歌町界隈を中心とした「生活」が凝縮されているような、おおかさ、というかのんびりした雰囲気があります。母屋、納屋、庭、畑、田んぼ、畦、竹藪。そうした風景が浮かんできます。

店舗は千坪もある上、品揃えは壮絶に幅広い。迷い込んできよろきよろ見回していると遭難しそうに感じたので（＝楽しすぎて家に帰れなくなりそう）、真鍋敬則社長にお話を伺うことにしました。

「昭和22年に父がこの地で生活金物店をはじめたのがきっかけです」戦後の荒廃がまだ残る町に、復興という明るい未

来を作り出す後押しとなったことでしょう。

まちの電気・水道・ガス屋さん

「洗濯機もまだ普及していない時代は洗濯板。これが今の時代だと店にあるのは乾燥機能がついたドラム式全自動洗濯機。うちはガソリンスタンドもやっていますが、これはもともと家庭用の炭の扱いからプロパンガス、自家用車用のガソリンに移り変わってきたんです」

地元のみんなに何が必要なのか耳を傾ける。必要なものを用意する、提供する。そうしているうちに今のデイスカまなべの姿に自然となってきたのです。ものを売るのはなく、生活に必要なことを手伝って整えている事が何え

ます。
畑をする人は「唐鉄」というのを知っているかもしれません。形を思い浮かべる人もいます。

「この唐鉄というのが実は地域ごとで形も角度も違うんです。みなさん自分の地域のが当たり前って思っちゃってらっしゃるんです」

この周辺の唐鉄のことを真鍋社長は「飯山型」と呼んでいます。それほど超ローカルな道具だとは驚きです。これ

を以前は飯山町の鍛冶屋さんで作っていたんですが、20年ほど前に廃業しました。

「もう近所にはこれを作る鍛冶が居ないんで探しました。さぬき市と三豊にひとりずつ、比較的若い職人さんが見つかって飯山型と同じのをつくってもらえるようになりました」

「他の店に行っても同じ唐鉄が中々見つからない。『よそでは【普通の】が売ってない』ときくと、うちで用意するしかない」行事などで炊き出しをする大きな鍋、見たことがあると思います。これを載せる巨大な「かまど」も地元鉄工所の特注品。お祭りなど神事で使う縄は通常と逆に縛られた「左縄」が使われます。これは役になった家で自家製していましたが今は人手も材料もなく難儀す



神事に使う左縄の縄。他の店で「デイスカまなべさんにあるよ」と聞いて買いに来た人もいます



農作業の汚れ物や脱水だけの利用など2槽式洗濯機の需要は根強いが家電量販店には売ってない。だから置いている



こうした農機もメンテナンスなど気軽に頼めるので、わざわざデイスカまなべを通して買う人も多いとか



害獣用電気柵(左)、米用冷蔵庫(右)永年培ってきた地域とのつながりを感じる

真鍋商事株式会社 デイスカまなべ

丸亀市綾歌町栗駒東97
電話/0877-86-3666
営業時間/8:00~19:00(平日)
9:00~19:00(土日)

休/1月1日、2日
販売内容/金物、工具、ワーク用品、園芸、エクステリア、家電、エコキュート・ボイラーなどの給湯器他
事業内容/ホームセンター及び住宅設備機器の販売・施工、ガソリンスタンドの運営、プロパンガス販売、福祉用具レンタル・販売、住宅改修
免許、資格/1種/2種電気工事士、ガス販売主任者、液化ガス設備士、危険物乙4類、給水工事技術者、浄化槽設備士、福祉用具相談員他



関、越前、土佐など選りすぐりの包丁ラインナップは圧巻。価格帯も幅広く一見の価値あり。「包丁と刃物を語ると止まらなくなるからここではやめときます笑」と真鍋敬則社長



家電、住宅設備は修理を含めて最も得意とするところ。特にエコキュートは西日本トップクラスの売り上げを誇る

る。そのため全国を探して左縄を仕入れて来たりも。
「困った時は真鍋に聞いたならええ」と言われます。そんなことないけどねえ」と社長は謙遜します。

取材中にも「砥石使わんと簡易に研げる包丁研ぎあるかの」「今朝壊れたんでこの洗濯機、午後には届けてもらえんかの」
今日も地元の人びとが「暮らしの用事」のために来店します。それを親身に受け止めている姿がとても素敵です。

地域の生活に密着して親しまれる「デイスカまなべ」。7月1日(土)・3日(月)には「夏の大感謝セール」が開催されます。省エネ家電やマキタ製品、お中元ギフト等がかなりお得らしいので、みなさんもちよつと覗いてみませんか？